

令和4年度クリーニング師試験 学 科 試 験 問 題

- 1 衛生法規に関する知識
- 2 公衆衛生に関する知識
- 3 洗濯物の処理に関する知識

係員の指示があるまで開いてはいけません

(注意事項)

- (1) 解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入すること。
- (2) 試験時間は午前10時30分から12時までの90分間とする。
なお、時間内に答案作成を完了した者は、手をあげて係員に知らせ指示に従って退室することができる。ただし、試験開始後、30分間は退室を認めないものとする。
- (3) 時間中、トイレ等やむを得ない場合は、手をあげて係員の指示に従うこと。
- (4) 答案作成は鉛筆書き（シャープペンシル可）とすること。
- (5) 文字が不鮮明で読めないときは、手をあげて係員にその旨を告げること。
- (6) 受験中、隣席の者と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命ずるものとする。
- (7) 受験票は、名前が書かれた面を上にして、必ず机上の受験番号札の下に置くこと。
- (8) 試験終了後は、受験番号等に記入漏れがないかを確認めたうえ、解答用紙を机の上に伏せて退室すること。

福 島 県

1 衛生法規に関する知識

問 1 次のクリーニング業法第3条第3項各号で規定している条文について、
営業者が講じなければならない措置に関してそれぞれの（ ）の中に入る
語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答
用紙に記入しなさい。

- 1 法第3条第3項第1号 クリーニング所及び業務用の車両（営業者がその
業務のために使用する車両（軽車両を除く。）をいう。以下同じ。）並びに
業務用の機械及び器具を（ ア ）に保つこと
- 2 法第3条第3項第2号 洗濯物を洗濯又は（ イ ）を終わつたものと終
わらないものに区分しておくこと
- 3 法第3条第3項第3号 洗濯物をその（ ウ ）に応じ区分して処理する
こと
- 4 法第3条第3項第4号 洗場については、床が、（ エ ）材料で築造さ
れ、これに適当な勾配と（ オ ）が設けられていること
- 5 法第3条第3項第5号 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのある
ものとして（ カ ）で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗
濯物は他の洗濯物と区分しておき、これを洗濯するときは、その前に消毒す
ること。ただし、洗濯が消毒の効果を有する方法によつてなされる場合にお
いては、消毒しなくてもよい。

- [語 群]
- （ア） ①安全 ②清潔 ③正常
 - （イ） ①仕上げ ②消毒 ③滅菌
 - （ウ） ①用途 ②素材 ③種類
 - （エ） ①浸透性 ②不燃性 ③不浸透性
 - （オ） ①排水口 ②防虫設備 ③R構造
 - （カ） ①政令 ②厚生労働省令 ③都道府県条例

問 2 クリーニング業法第2条で規定している用語の定義に関する記述として正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを含む。）を営業とすることをいう。
- 2 「業者」とは、クリーニング業を営む者（洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業とする者は含まない。）をいう。
- 3 「クリーニング師」とは、全国クリーニング生活衛生同業組合連合会がクリーニング師試験に合格した者に与えるクリーニング師の免許を受けた者をいう。
- 4 「クリーニング所」とは、洗たく物の処理又は受取及び引渡しのための業者の施設をいう。

問 3 クリーニング業法、同法施行令及び同法施行規則の規定に関する次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 タオルは、営業者に引き渡される前に消毒されていないものであっても、伝染性の疾病にかかっている者が使用した物として引き渡されたものでなければ、洗濯する前に消毒をしたり、消毒の効果を有する方法で洗濯する必要はない。
- 2 営業者は、クリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備がクリーニング業法の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。
- 3 クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を店頭に掲示しておくとともに、洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を記載した書面を配布しなければならない。
- 4 クリーニング師の免許を受けようとする者は、居住地の都道府県知事に申請しなければならない。
- 5 洗濯物の処理をするクリーニング所は、クリーニング師でなければ開設できない。
- 6 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。
- 7 営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対して、法第8条の2第1項に規定するクリーニング師の研修を受ける機会を与えなければならない。
- 8 クリーニング所開設届に虚偽のクリーニング師の氏名を記載し、届出した場合、5千円以下の罰金に処せられる。
- 9 クリーニング師の免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、発見した免許証を速やかに廃棄しなければならない。
- 10 都道府県知事は、必要があると認めるときは、環境衛生監視員に、クリーニング所に立ち入り、検査を行わせることができるが、業務用の車両（営業者がその業務のために使用する車両（軽車両を除く。））は検査の対象に含まれない。

2 公衆衛生に関する知識

問 1 次の憲法第25条の条文について、それぞれの（ ）の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 すべて国民は、健康で（ア）な（イ）の生活を営む（ウ）を有する。
- 2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、（エ）及び（オ）の向上及び増進に努めなければならない。

- [語 群]
- （ア） ①文化的 ②社会的 ③衛生的
（イ） ①正規 ②普通 ③最低限度
（ウ） ①権限 ②義務 ③権利
（エ） ①社会保障 ②社会環境 ③福利厚生
（オ） ①環境衛生 ②公衆衛生 ③生活水準

問 2 次の文章のうち、「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」の規定に関する記述として、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 この法律の対象となる生活衛生関係営業には、クリーニング業、旅館業、理容業、美容業、公衆浴場業などが含まれるが、飲食店営業は含まれない。
- 2 この法律に基づき組織される生活衛生同業組合は、営利を目的とする組織であり、組合員が任意に加入し、又は脱退することができる。

問 3 次の感染症（A）と病原体（B）の組み合わせで正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- | | | | |
|---|----------|---|----------|
| 1 | (A) コレラ | — | (B) ウイルス |
| 2 | (A) エイズ | — | (B) 細菌 |
| 3 | (A) マラリア | — | (B) 原虫 |
| 4 | (A) 梅毒 | — | (B) ウイルス |

問 4 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律及びその関連法令において、洗濯業に関して、衣類用ハンガーや衣類用カバーを提供する事業者は、有償での提供や繰り返し使用が可能な製品の提供など、使用の合理化のための取組を行い、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制するものとされている。
- 2 地域保健法に規定される保健所の事業には、「人口動態統計その他地域保健に係る統計に関する事項」は含まれない。
- 3 建築基準法では、引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場について、第一種住居地域での建築は禁止されているが、商業地域では認められている。
- 4 大気汚染防止法では、テトラクロロエチレンによるドライクリーニング機（密閉式のものを除く）については、処理能力が1回当たり100kg以上の施設に指定物質抑制基準が設定されており、事業者は当該排出又は飛散を抑制するための措置をとる必要がある。
- 5 SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年に開催された国連の「持続可能な開発サミット」で採択された国連が主導する取組みであり、世界が2030年までに達成すべき50の目標とその目標をより明確化した200のターゲットから構成される。
- 6 クリーニング所から排出される廃棄物は、すべて特別管理産業廃棄物に該当する。
- 7 病原体を物理的又は化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることを滅菌という。
- 8 ドライクリーニングを行うすべての洗濯事業者は、P R T R制度（化学物質排出移動量届出制度）に基づき、テトラクロロエチレンなど第1種指定化学物質の排出量及び移動量を届け出なければならない。
- 9 水質汚濁防止法では、有害物質であるテトラクロロエチレン等を使用しているクリーニング所等の有害物質使用特定施設について、設置者は定期的に点検を行い、その結果を記録し、保存しなければならないとされている。

3 洗濯物の処理に関する知識

問 1 次の文章について、それぞれの（ ）の中に入る語句として最も適切なものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

（ア）とは、あらかじめドライ溶剤にドライソープを添加しておいて洗う方法で、一般的なドライクリーニングシステムである。

（ア）では、ソープ濃度は（イ）%を用いるのが普通である。

〔語 群〕 （ア）①チャージシステム ②リネンサプライ
③ウェットクリーニング
（イ）①0.02～0.1 ②0.5～1 ③5～10

問 2 厚生労働省が定めた「クリーニング所における衛生管理要領」に規定する指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記述として正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 熱湯による消毒は、70℃以上の熱湯に5分間以上浸すこと。
- 2 塩素剤による消毒は、遊離塩素 50ppm 以上の水溶液中に 20℃で3分間以上浸すこと。
- 3 蒸気による消毒は、100℃以上の湿熱に10分間以上触れさせること。
- 4 界面活性剤による消毒は、殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に 30℃以上で30分間以上浸すこと。

- 問 3 次の A 群のそれぞれの繊維の説明として、最も適切なものを B 群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。
ただし、同じ番号を複数回使用しないこと。

《A 群》

- (ア) ポリウレタン
- (イ) アクリル
- (ウ) レーヨン
- (エ) アセテート
- (オ) ポリ塩化ビニル

《B 群》

- 1 丈夫で耐薬品性が優れ、難燃性である反面、耐熱性は特に低く、60℃以上の熱で収縮、形くずれを起こす。吸湿性がなく、難染性のため衣料品としては適さない。
- 2 原料の木材パルプから絹の外観に似せて人工的に作った再生繊維。絹のように連続した長繊維であることから、「人絹（じんけん）」と呼ばれた。
- 3 木材パルプを原料とし、そのセルロースを酢酸でエステル化した後に防糸して製造した半合成繊維。絹に似た光沢と深みのある鮮明な発色を特長とし、ハリ、コシ、ドレープ性も優れている。
- 4 ゴムのように6倍以上もよく伸び大きな伸縮回復力のある弾性繊維。染色性が低く、熱、油、薬品、紫外線に弱い。
- 5 最も羊毛に似た性質を持つ合成繊維。かさ高性があり、毛に似た軽くて柔らかい手触り。欠点として、ピリングが出やすく、熱に弱い。

問 4 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 ストレッチ素材とは、伸縮性に優れ、伸ばされた状態で力を解放すると元の状態に戻る伸縮回復性を持つ素材をいう。
- 2 モール糸とは、ポリエステルやナイロンのベースフィルムにアルミニウムや銀等の金属を蒸着した糸をいう。
- 3 和服のクリーニングにおける生洗い（いきあらい）とは、着物全体に溶剤を浸漬させ洗浄する方法をいう。
- 4 メタ珪酸ナトリウムは、綿布などに対して再汚染防止効果が優れ、洗濯物の白さが向上する。
- 5 ポリエステルを水酸化ナトリウムの熱水溶液に浸漬して、繊維表面の組織を一部溶解して除き、繊維製品の風合いを改善する加工を、オパール加工という。
- 6 ランドリーの仕上げは普通、アイロン、プレス機、シーツロール機で行うが、絹の仕上げの上限温度は 100℃である。
- 7 皮革は熱に強く、高熱を受けても硬化収縮しない。
- 8 洗剤は、いずれも界面張力を下げる働きを持っており、その主成分は界面活性剤である。
- 9 メタクリル酸樹脂を原料にしたプラスチックボタンをユリアボタンという。